



マシナリー事業では新鋭機器を積極導入

卓越の溶着技術と、社内公募から 360度歯ブラシが生まれた

株式会社STBヒグチ

<http://www.stb-h.co.jp/>

関西
21

Company Profile

株式会社STBヒグチ

住 所 / 〒578-0935

東大阪市若江東町4-6-29

創 業 / 昭和30年

設 立 / 昭和30年

資本金 / 2,000万円

従業員 / 40名

T E L / 06-6724-6050

F A X / 06-6724-7057

■主な事業内容

〈マシナリー事業部〉

精密機械部品加工、各種自動機、省人・省力化機械の設計・製造、工業用ブラシの企画・開発・製造・販売
〈コモディティー事業部〉
円筒形歯ブラシ製造

■主な取引先

〈マシナリー事業部〉

家電メーカー、包装機械メーカー、工作機械商社
〈コモディティー事業部〉
日用雑貨卸、薬品卸、海外雑貨卸



若き創造集団STBヒグチ

360度歯ブラシはメーカーとして何か製品を持ちたいと試行錯誤を繰り返す中、7年前に社員よりアイデアが提案されたことから生まれた。同社は精密部品加工、自動機、省力気機能設計製造が本



360度歯ブラシ「たんぼの種」

「たんぼの種」という可愛い名称と、ほかにはない斬新な形状で人気の歯ブラシがある。どう斬新かというと、ヘッドが円筒形で360度がブラシなのだ。この独特の形状が、歯垢除去や歯茎ケアにたいへん優れていることから、平成16年の発売以来快進撃を続けている。

社員が生んだ大ヒット作
「たんぼの種」歯ブラシ

来の専門分野。それがなぜ歯ブラシだったのか？開発企画担当者は語る。「溶着機組込型自動機に強いウチなら必ず作れる。それも低価格で。自信がありました」。

独自の溶着技術で コストダウンに成功

360度歯ブラシのアイデアは、古くから存在した。その製造方法は、ブラシ毛を金属片とともに植毛する従来の歯ブラシとは異なり、ブラシ毛とブラシ毛を溶着する技術を用いる。しかし磨き心地とブラシ強度の両立が難しく、そのうえ量産化も困難で商品が非常に高額となった。STBヒグチは、ヘッド部の樹脂の形状に改良を加えてからブラシ毛を溶着すること、この難題を解決した。製作機も自社で開発しているため、ひとけた違う価格設定が可能になった。樹脂の二次加工と溶着技術が高レベルで足並み揃った同社だから実現したといえる。社員のアイデア

アと溶着技術という「種」が新事業を開花させたのだ。
平成19年には特許も取得。今後はラインアップを充実させ、欧米、アジアへの海外進出も控えている。将来は、清掃ブラシなど日用品への展開も視野に入れているという。

「作れないものはない」 ものづくりへの自負

同社は昭和30年に、精密部品加工と自動機・省力機器の樋口製作所として創業。平成21年春、先の歯ブラシ事業と統合し、新たに株式会社STBヒグチとなった。機械製作は、同社の開発力・技術力の根幹である。とくに自動機では「作れないものはない」というほどの自負がある。溶着技術は超音波溶着を中心とし、要求が高度な食品業界で認められていることから信頼性の高さがうかがえる。取引先は名だたるメーカーや工作機械商社。50年以上に渡る、ゆるぎないものづくりの証だ。

当社のセールスポイント

ものづくりを誇りに思う
それが、50年以上
変わらぬ当社の姿勢です。



代表取締役
樋口 真樹さん

ものづくりは、工業国日本の発展の原動力です。製造業は今たいへんな苦境に立っていますが、コストダウンを求められることは弊社のチャンスであるにとらえ、お取引企業様と共に成長をめざします。ものづくりを誇りに思い、若くやわらかい頭で硬い金属に立ち向かう、それが私たちの変わらぬ姿勢です。